



◀規格を確認する生産者



## 「白神ねぎ」目揃会を開催

ねぎ部会

ねぎ部会（大塚和浩部会長）は7月20日、夏ねぎ目揃会を開催し、生産者、JA、市場関係者など約50人の参加のもと、市場動向や出荷規格の確認をしました。

はじめに、大塚部会長が「いよいよ夏ねぎの出荷が本格化してくる。6月は低温で生育が遅れて心配だったが、ここにきて追いついてきた。防除を徹底し、品質の基準を整えどこにも負けないねぎを出荷してもらいたい」とあいさつ。その後、地域振興局職員から病害虫についての説明があり「7月に入り、べと病やさび病、ネギザミウマの発

生が多くなっている。また、夏季の高温では軟腐病の発生の恐れもあるため、防除の徹底をお願いしたい」と呼び掛けた。また、白神ねぎの品質統一とブランド向上を目指し、部会役員が部会員の検査指導を行うことを申し合わせた。

今年度の販売計画は、販売数量3929.6t、販売金額は13億38万円としており、6月末での実績は販売数量204.9t（前年対比105.8%）、販売金額6,314万円（同105%）となっています。8月中旬に出荷のピークを迎え1日当たり6千～7千ケースが出荷されます。

## 超神ネイガーによる交通安全教室を開催

共済課

JA共済連秋田が主催する『超神ネイガー』の交通安全教室が、7月12日に能代市第一保育所で開かれ、園児達はご当地ヒーローから正しい交通ルールを学びました。

この教室は、JA共済連秋田と県内各JAが幼児の交通事故を防ごうと各地で開催しており、この日は園児75人が参加しました。教室では、①車道の近くで遊ばないこと・②車道を渡る際は横断歩道を利用すること・③渡る前に車が来ないか、必ず左右の確認をすることの3点について、ネイガーや交通ルルちゃんらがショーを交えて分かりやすく解説しました。最後は、交通安全体操を踊り、会場は大いに盛り上がりしました。



▲正しい交通ルールを教える超神ネイガーと交通ルルちゃん



▲白神りんどうの出来を確認する生産者

## 生育順調！りんどう目揃会

りんどう部会

りんどう部会（菊地昇一部会長）は7月31日、藤里町の集出荷所にて目揃会を開催し、盆前出荷に向けて品質や出荷規格、今後の管理などについて確認しました。

目揃会には生産者やJA、地域振興局職員など約20人が参加しました。振興局職員からは「この時期一番注意してもらいたいのは黒班病。菌自体は弱いものなので、発生したらすぐに防除をし、被害が出ないように気をつけてもらいたい」と呼びかけました。昨年は前進傾向でしたが今年は順調に生育し、現在出荷のピークを迎えています。集出荷所には100本入りを中心に日量約400ケースが運び込まれています。

